

令和4年度
事業報告(案)

社会福祉法人白老宏友会
指定特定相談支援事業所「ゆから」

1 はじめに

令和4年度「ゆから」の相談支援利用者数は3/31時点で127名。法人関係利用者が112名、他事業所利用者が14名、在宅者が1名の計画相談を実施してきた。事業所の移動（法人内共同生活援助からあぶた福祉会清水友愛の里、在宅から苫小牧慈光会かしわぎ園）につながる連絡調整やサービス利用内容の変更（短期入所導入から共同生活援助、共同生活援助利用から施設入所支援等）について対応支援を行った。福祉サービスの支援方法や目標、利用者保護者のご意向、支援者の意見等についてまとめ、障がい者自身が望む自立した社会生活を営むことができることを目的として、本人に合った適切なサービス利用ができるよう計画相談を実施してきた。

計画相談策定にあたり新型コロナ感染予防の関係で訪問が難しい場面では、電話や文書等での状況確認などにより利用者家族・支援者等との聞き取り情報共有により計画相談業務を行った。また、関係会議等についてはコロナ禍によりリモートにて実施されていたが、3/2に3年ぶりに集会形式にて開催された「東胆振圏域相談事業所等連絡会議」に参加し地域福祉の状況など情報交換を行った。

2 計画相談作成件数

<利用状況>

ゆから			
	サービス計画(新規・更新)	継続計画(モニタリング)	合計
4月	5件	14件	19件
5月	6件	18件	24件
6月	7件	15件	22件
7月	10件	22件	32件
8月	5件	26件	31件
9月	8件	22件	30件
10月	3件	14件	17件
11月	2件	19件	21件
12月	1件	18件	19件
1月	5件	26件	31件
2月	6件	25件	31件
3月	9件	19件	28件
計	67 (R3. 85)	238 (R3. 203)	305 (R3. 288)

新規・更新：R4・法人内-57件、法人外-10件（R3・法人内-76件、法人外-9件）

継続(モニタリング)：R4・法人内-209件、法人外-29件（R3・法人内-179件、法人外-24件）

<行政機関別件数>

- ・白老町 64 名・室蘭市 15 名・登別市 15 名・苫小牧市 14 名
- ・千歳市 2 名・江別市 2 名・伊達市 1 名・函館市 1 名・三笠市 1 名
- ・浦河町 1 名・洞爺湖町 1 名 ・札幌市西区 3 名・札幌白石区 2 名
- ・札幌清田区 2 名・札幌北区 1 名・札幌東区 1 名・札幌南区 1 名 （全 127 名）

<事業所等別件数>

- ・法人関係利用者 112 名
- ・法人外利用者 15 名
(フロント 6 名、北海道リハビリテーションセンター 4 名、かしわぎ園 2 名、ファミリー 2 名、在宅者 1 名)

3 事業の実施

利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って、提供される福祉サービス等が特定の種類または特定の福祉サービス事業等を行う者に不当に偏ることのないように行ってきた。自ら提供する指定特定相談支援の評価を行い、必要により改善を図ってきた

新型コロナ感染予防の関係で、計画相談策定にあたり訪問が難しい場面では、電話や文書等での状況確認などにより利用者家族・支援者等との聞き取り情報共有により計画相談業務を行った。

4 スキルアップ及び地域圏域との情報交流

(1) 新型コロナ感染症予防の関係で、関係会議等についてはリモートにて実施されていたが、3/2 に 3 年ぶりに集会形式にて開催された「東胆振圏域相談事業所等連絡会議」に参加し地域福祉状況の情報交換などを行った。白老町自立支援協議会相談支援部会の実施については自粛され、文書や電話連絡・通信等により福祉資源の活用・統計確認・課題の抽出など情報交換を行った。

(2) 新型コロナウイルス感染状況について、胆振圏域障がい者総合支援センター等との連携により情報交流を行った。